

# 令和元年度 9月補正予算

4億9572万円を追加し、  
**総額  
103億2164万円**  
になりました。

高鍋駅舎  
耐震診断業務委託費  
**330万円**

高鍋駅舎購入費  
**97万円**

高鍋温泉めいりんの  
湯管理事業  
**631万円**

脇地区急傾斜地  
崩壊対策事業  
**1000万円**

## 平成30年度 決算

# 効果的で適正

**一般会計 134億7707万円**  
**特別会計 43億9135万円**

**認定**

### 主な事業

- 多面的機能支払交付金事業 **3743万円**
- 学校施設環境改善事業 **6047万円**
- 子ども医療費助成事業 **7323万円**
- 津波避難タワー整備事業 **8358万円**
- 尾鈴土地改良事業 **8531万円**
- 障害児通所給付事業 **8681万円**
- 汚水処理施設整備事業 **1億0989万円**
- 一般廃棄物処理事業 **2億8960万円**
- 町単独道路改良事業 **4億5281万円**
- 自立支援給付事業 **5億4377万円**
- ふるさと納税事業 **18億7493万円**



立派に改良された町道（茂広毛平付式本松線）

平成30年第3回定例会が、9月5日から24日までの11日間の日程で行われ、専決1件、報告3件、請負契約2件、決算認定10件、条例3件、補正予算6件、及び発議2件等が上程され審議を行いました。

区 分	決 算 額		差 引 額 (単位：千円)	
	収入済額	支出済額		
一 般 会 計	13,477,071	12,843,211	633,860	
特 別 会 計	国民健康保険	2,845,662	2,797,735	47,927
	後期高齢者医療	512,014	512,014	0
	下水道事業	450,423	429,307	21,116
	介護認定審査会	10,328	9,293	1,035
	介護保険	1,992,308	1,894,052	98,256
	一ツ瀬川雑用水管理事業	23,044	17,269	5,775
	西都児湯固定資産評価委員会	188	131	57
	工業用地造成事業	2,661,778	2,575,757	86,021
合 計	21,972,816	21,078,769	894,047	

水道事業は会計の違いにより未処分利益のみ記載 5,275万円でした。

関連インフラ整備や災害復旧事業などの生活環境整備にも取り組まれている。  
ふるさと納税制度を積極的に活用し、地場産業の活性化を図りながら財源の確保に努め、財政の健全化に配慮する一方、各種の補助制度を活用し、防災対策や教育環境の整備にも取り組むとともに、企業誘致を推進するなど、平成30年度一般会計の運営は効果的であり適正であったと認められる。  
なお、高齢化等の進展により社会保障費の大幅な増が継続とともに、公共施設の維持管理費増大など、財政需要が拡大すると思われることから、今後の財政運営は一段と厳しさを増すことが予想される。そのため予算編成にあたっては、消費税増税に伴う社会情勢の変化や町民の意識等を的確に把握し、なお一層の工夫と取り組みにより、効率的で効果的な財政運営に努め、更なる町民福祉の向上と町勢の発展に向けて組織一丸となり、高鍋町の強みと特色を生かして「高鍋らしい」まちづくりに取り組まれるよう要望する。



黒木代表  
監査委員

町民福祉の向上と町勢の発展に向け組織一丸となることを要望  
(決算審査意見書抜粋)

一般会計における財政指標をみると、財政力指数は0.517と県内の平均を大きく上回っている。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.6%、標準財政規模に占める公債費の割合を示す公債費比率は5.2%であり、さらに健全化判断比率も健全度が向上するなど財政の健全性は保たれていると判断される。  
歳入面では町税が5702万8千円増加し、収納率も96.62%で前年度を上回った。積極的に自主財源の確保に努め、国県補助金の活用を図るなど、安定した財源確保ができています。歳出面では障害福祉費、子ども医療費助成費等の増加や道路改良等の投資的経費が増加したが、財政の健全化に配慮しながら財源を有効に使い、企業誘致に伴う